

一般社団法人 日本医学物理学会
平成 24 (2012) 年度 第 6 回理事会議事録 (抄)

日時:平成 24(2012)年 11 月 17 日(土)12:00-17:15

場所:首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス

出席者:遠藤・松本・新保・櫻井・荒木・小口・齋藤・榮・西尾・福田(理事)、福村(監事)

欠席者:奥村・門前(理事)、金井(監事)

参会者:和田・蓑原・赤羽(委員長)、豊福・福士(大会長)

議題:

1. 前回(第5回)の議事録(案)の確認
2. 新入会員・退会者の承認
3. 第 104 学術大会の報告
4. 105、106、107 回大会の準備状況について
5. 選挙関係細則の改訂について
6. 会費の値上げについて
7. ホームページのリニューアルについて
8. 「医学物理」の新しい編集方針について
9. 委員会報告
10. 医学物理士認定機構の現状について
11. その他

資料:議案書冊子

席上配布:資料 4(第 105 回大会資料 4 頁)、

資料 9(計測委員会資料 1 点、国際交流委員会資料 1 点、防護委員会資料 1 点)

投影・後日配布資料:資料 9(QA/QC 委員会資料 1 点)

議事

出席者の確認の後、会長が議長となり開会を宣言し議事に入った。

1. 前回(第5回)の議事録(案)の確認

資料1に基づき前回理事会(9月13日)の議事録案を通読・確認した。出席・参会者／欠席・不参者の表記につき訂正を加えた。

2. 新入会員・退会者の承認

資料2に基づき、庶務理事より9月1日－10月31日の入退会・資格変更等が報告され、承認した。これにより会員総数は2,065名となった。

3. 第104 学術大会の報告

資料3に基づき、第104回大会長より事業・会計報告がなされた。秋季大会としては参加者数が過去最高を記録し閉幕した。市民公開講座の開催については反省を残し、次回以降の課題として示された。

4. 105、106、107 回大会の準備状況について

第105回大会長より、その準備状況について席上配布資料4に基づき報告された。

教育講演の考え方について議論した。

JBMPの認定に対して:JBMPでは「出席3点」のみの定義なので、内容はJSMP次第。不正規受講を防止する必要性あり。

教育講演の定義について、教育委員会で検討を重ねることとした。

第106回大会長より、その準備状況について資料4に基づき報告された。

大会テーマの報告があった。関係役員は資料の通り了承した。

第107回大会については、同大会長より口頭で概況報告がなされた。

5. 選挙関係細則の改訂について

資料5に基づき、会長より説明がなされた。

選挙スケジュールを適正化する等の説明を受けて議論の結果、その方向を了承した。本件は次回に審議。

6. 会費の値上げについて

資料6に基づき、2013年度からの会費値上げと研究成果報告奨励(国際会議渡航費補助)を特別会計化する件についての提案が会長よりなされた。

現時点で2013年度活動を俯瞰する限り、値上げがなければ単年度で赤字の見込。早晩積立も底をつくので、2013年度で会費額を改訂し、財政健全性を確保したい。また研究成果報告奨励については、一般会計で運用してきたが、本事業に対する賛助収入も判然とし難くなっているため、この際分離し明確化したい。

以上の説明に、他学会の会費との比較の議論などあり、会費改訂の基本線を了承した。

本件はなお次回理事会で審議することとした。

7. ホームページのリニューアルについて

資料 7(ならびにその投影)に基づき、広報委員長より進捗の報告があった。

理事会メンバーに URL を案内して意見を集約することとした。

なお大会データベースについては、各発表の情報は共同発表者も含めることを原則として、以降とも収集・搭載してゆくこととした。

8. 「医学物理」の新しい編集方針について

本件は編集委員長より口頭で報告がなされた。

- 「医学物理」誌の性格の変容:投稿中心から依頼中心へ
解説・総説が増える。解説は投稿規定に定義なしにつき、編集委員会で準備する。

- 刊行を正常化する

2012 年度から 2013 年度にかけて遅れを取り戻し、2014 年度当初は正常化させる。

以上のほかにも

- 大会長の裁量のもと、編集委員会と連携し、大会発表の記事を掲載する。

- 英語論文は RPT 誌に誘導する(現在は和英どちらでも可)。

の諸点も報告され、これを承認した。また編集委員長からは、各委員会活動の中からの企画提案の依頼があった。

9. 委員会報告

<教育委員会>

資料 9-1 に基づき、委員長より報告がなされた。

サマーセミナー e-learning の著作権については、連携先では専門家より意見ありだった由なるものの、こと医学物理学会としての姿勢は、著作権は登壇者に帰属し学会は関与する余地がないことが報告された(連携先の e-learning では「JSMP のサマーセミナーのコースであること」を表示する)。

理事会は以上の活動を、その延長に展開されるものについても承認した。

<QA/QC 委員会>

資料 9-2 に基づき、委員長より報告がなされた。

粒子線治療 QA/QC ガイドラインの査読を、委員会を設置して受けたいとの提案がなされた。これについて承認した。

また TG-142 のホームページ掲載依頼がタスクグループから寄せられていることが報告された。本件について議論の結果、学会名記載の有無等が明らかになるまで広報委員会の預りとした。

<編集委員会>

資料 9-3 に基づき、委員長より「医学物理」の新編集方針を受けた活動状況が報告された。また編集担当理事より、RPT 誌に関して会員マイページからの無料閲覧ができるようになったことが報告された(これにより従来の Token 方式は年末で終了)。また編集委員の増員と役割変更の提案があり、これを承認した。

さらに論文賞候補についても提案がなされ、原案を承認した。

<教科書 ad hoc 委員会>

資料 9-4 に基づき、委員長より編纂の進捗が報告された。

<計測委員会>

席上配布資料 9 により、委員長より活動状況が報告された。

<国際交流委員会>

席上配布資料 9 により、委員長より活動状況が報告された。

<防護委員会>

席上配布資料 9 により、委員長より活動状況が報告された。

10. 医学物理士認定機構の現状について

資料 10 に基づき、JBMP 理事を兼ねる JSMP 理事より JBMP の活動状況が報告された。

11. その他

- QA/QC 委員長より、日本物理学会の来春の大会でのシンポジウム企画について報告がなされた。本シンポジウムは、物理学会が決定すれば JSMP が協力団体として入ることを可とした。
- 会長より、JARR の JSMP 担当理事から提示された ICRR2015 招致に関する資料と 2012 年度 JARR 役員が紹介された。
- 次回理事会については、日程調整の結果 3 月 2 日(土)に開催することとした。

その他の発議を求めたところ、格別なしと認められたので、議長は 17:15 に閉会を宣言して散会した。